

**Baxter**



**Saving and Sustaining Lives**

**50** years

いのちを守りたい。  
その情熱で未来へ。

**Our Journey of  
Saving and  
Sustaining Lives**

バクスター株式会社 設立 50 周年記念誌

社名 バクスター株式会社 (Baxter Limited)  
設立 1969年3月27日  
資本金 39億3,000万円  
(米バクスターインターナショナルインク100%出資)  
代表者 代表取締役社長 : Danny Risberg

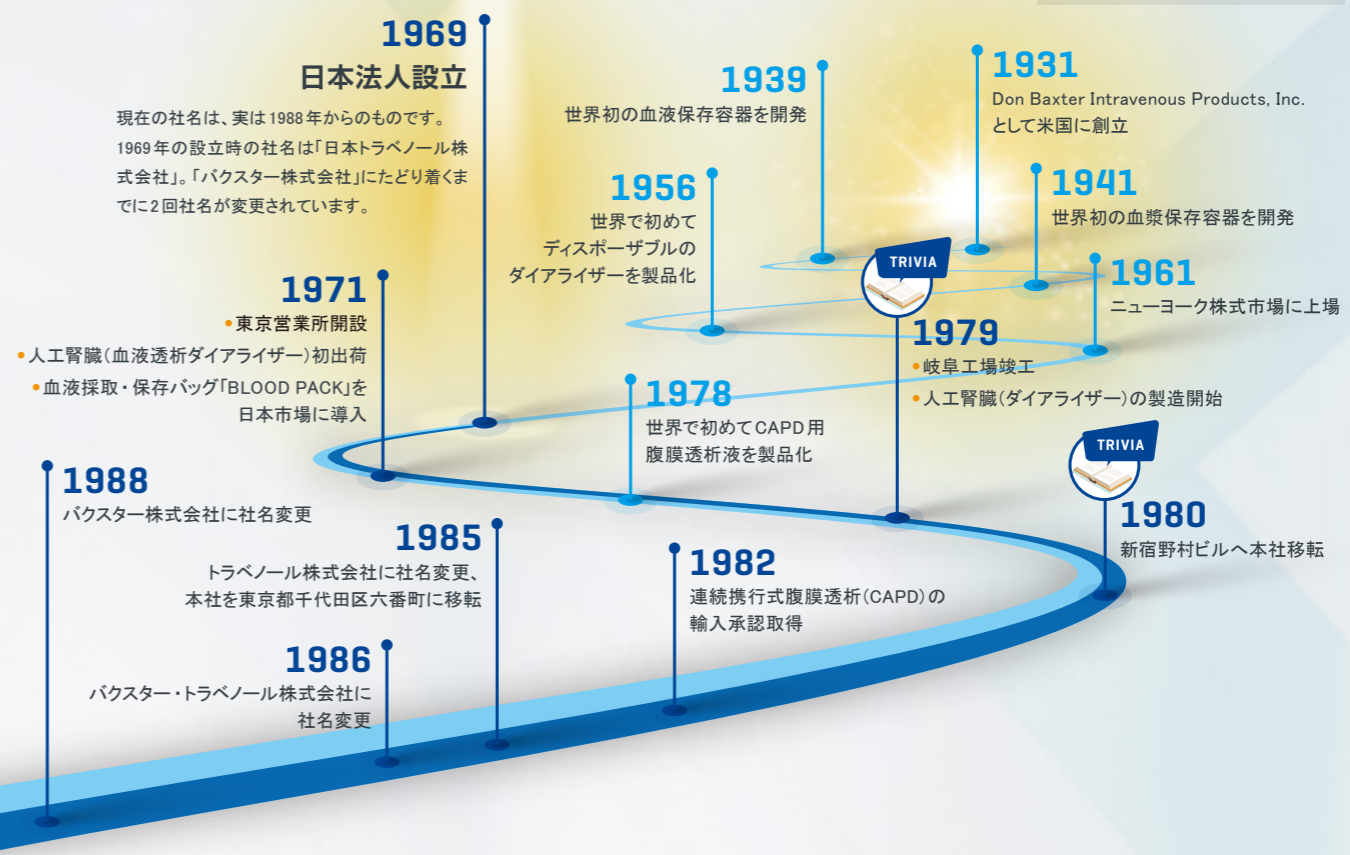
国内拠点 晴海トリトンオフィス  
〒104-6009  
東京都中央区晴海1丁目8番10号 トリトンスクエア オフィスタワー-X 9階  
虎ノ門ヒルズオフィス  
〒105-6320  
東京都港区虎ノ門1丁目23番1号 虎ノ門ヒルズ森タワー 20階  
宮崎工場/技術サービスセンター/  
CAPDコールセンター  
〒889-1601  
宮崎県宮崎市清武町木原4584番1号

物流拠点 セントラルディストリビューションセンター  
札幌流通センター  
東京物流センター  
大阪流通センター  
広島流通センター  
宮崎流通センター

# 患者さんの生命のために

挑戦し、成長し続けたバクスター。日本に根を下ろし、医療ニーズに応えてきました。

— Baxter Japan  
— Baxter Global



## TRIVIA

**1979**  
Made in Japanのバクスター製品たち  
日本初の生産拠点は岐阜に作られた!

日本初の生産拠点として1979年に竣工された岐阜工場は、1981年までコイル型人工腎臓(ダイアライザー)を国内市場向けに製造していました。工場立ち上げ当時は全てが手探りで、機材やシステムの問題に立ち向かいながら、現在の「Made in Japan」の礎を作ってきました。1982~83年にはダイアライザー製造施設から腹膜透析液生産施設へと改造されました。この間は担当していたオーストラリア向けの輸液セットの組み立て業務を止めないためにロッカー室を製造室に作り変えるといった工夫をして業務を続けたそうです。

※一部腹膜透析製品に限る。



**1980**  
グローバルカンパニーの日本本社は  
当時最新鋭の新宿野村ビル!

バクスターは、1978年に竣工された超高層ビル群の一つである新宿野村ビルディングに本社を構えていました。当時最新鋭の設備を備えた超高層ビルへの入居は、バクスターの勢いを象徴するものでした。そして、当時の新入社員は45階まで1ヶ月間毎日、階段で上り下りしていたそうです。



**1990**  
伝説の強豪!宮崎工場野球部設立

宮崎工場竣工の1990年に設立され、今年でチーム結成29年目を迎えるバクスター宮崎工場野球部は、年間5回大会にエントリーし、定期的に上位の成績を収めながら積極的に活動しています。2016年には全日本軟式野球大会2部全国決勝にも出場の強いチームです。また、試合以外でもチームとして清武町民駅伝大会などに出場したりとバクスターの企業としてのイメージアップに大きく貢献してくれています。



# 医療環境の変化とセラピーの歴史

この50年間、日本の社会構造も患者さんや医療現場を取り巻く環境も大きく変化してきました。

バクスターは、この国の患者さんのケアにかかわる

様々な課題に共に取り組む存在でありたいと常に願い、努力を続けています。

私たちは、これからもスマートかつパーソナライズされた医療を患者さんに提供していくための

パートナーであり続けるために、イノベーションを追求していきます。

## Critical Care

### クリティカルケア領域

バクスターは、一刻を争う緊急時、医療従事者の皆さまに救命と回復につながる治療を提供できるようサポートしています。

重篤な疾患や外傷の治療には特に高度な技術と専門性が求められ、ひとつひとつのプロセスが回復のために重要です。バクスターは集中治療室(ICU)で働く医療従事者の皆さまの信頼できるパートナーとして、主に敗血症、急性腎障害(AKI)を発症した際に、グローバル規模で信頼されている独自の急性血液浄化法を提供してきました。そして2018年より日本で唯一、急性血液浄化法におけるトータルソリューションをお届けする企業としてその存在感を強めています。



“ 日本国内で敗血症で亡くなる方 ”  
年間約10万人<sup>\*1</sup>

\*1引用:「敗血症.com」日本集中治療医学会と日本救急医学会の敗血症情報サイト

## Surgical Care

### サージカルケア領域

高齢化社会による手術件数の増加を背景に、外科系各科において手術手技がめざましく進歩を遂げるなか、サージカルケアは吸入麻酔や止血材などの提供を通じ手術の現場でのより良い周術期管理を支援しています。バクスターはイノベーションによって様々な領域の外科チームと協力し、手術に伴う侵襲や術後合併症リスクの低減など周術期の成績向上に貢献しています。

“ 止血材市場、日本は米国、中国に次ぐ規模 ”<sup>\*2</sup>

\*2 当社推計

“ 日本国内の全身麻酔の年間件数 ”  
年間約280万件 (2014年)<sup>\*3</sup>

\*3引用:厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概況」を基に当社推計



## Hospital Care

### ホスピタルプロダクト領域

病院や医療の現場のいたるところで医薬品は重要な役割を担います。バクスターは医療従事者の皆さまが患者さんの回復に専念できるように、また、患者さんとそのご家族により良い医療を届けられるよう、サポートしています。

この分野では長い間、医療の現場で信頼され続ける化学療法における薬剤投与のための携帯型注入ポンプ(インフューザー)などの製品を提供しています。



“ 生涯でがんに罹患する確率は ”  
2人に1人<sup>\*4</sup>

\*4引用:国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター

## Renal Care

### 透析製品領域

末期腎不全(ESRD)の治療は生涯続くため、患者さんが治療とのバランスを取りながら「その人らしい」人生を送っていただけるようにしていくことが重要です。そのために、幅広い治療の選択肢の提供を通じてバクスターは、医療従事者の皆さまが質の高い治療・ケアを提供することができるように支えています。

バクスターは、透析治療のパイオニアとして日本においても70年代から病院・透析クリニックで行われる血液透析の製品のお届けを始め、80年代には初めて在宅透析(腹膜透析)をこの国に導入し、提供を続けてきました。患者さんの治療の負担を最小限にすべく製品やサービスの面から引き続き透析治療分野の発展に貢献していきます。

#### 患者さんの透析治療を遠隔管理

2018年より提供の始まった双方向性クラウドベースの治療計画プログラムにより、医療従事者の皆さまは病院から腹膜透析患者さんの治療結果をリモートでモニタリングすることが可能となりました。患者さんは来院せずとも医師による経過の観察や透析の処方調整、治療介入を受けることができる時代を迎えました。

“ 慢性腎臓病に罹る割合は10人に1人 ”<sup>\*5</sup>

\*5引用:World Kidney Day, WorldKidneyDay.org; Accessed April 2018

これは世界中における慢性腎臓病を患う方々の割合です。病気の早期発見は、腎疾患から腎不全への進行を防ぐためにも重要です。

“ 透析導入年齢 平均68.4歳(日本) ”<sup>\*6</sup>

\*6引用:日本透析医学会統計調査 2017年



# 患者さんの生命を守るクロッシングポイントとして

バクスタージャパンは50年の間、「患者さんの生命を守る」ための重要なクロッシングポイントであり続けてきました。これからの50年も、変わらぬ情熱とともに日本の医療を変革し続けていきます。



## ▶ Miyazaki Manufacturing

品質を第一に、地域と共に成長する国内生産拠点として

宮崎工場は1990年に、宮崎県清武町の良質な水資源を使用し、国内の品質基準に定める腹膜透析液を生産することを目的に操業を開始しました。2020年に竣工30年を迎えますが、市場ニーズの変化に柔軟に対応する力と、地域のコミュニティと共に成長する姿勢で、日本の医療に寄り添い続けています。



## ▶ Tokyo Plant

日本と世界をつなぐディストリビューションの要として

世界で信頼されるバクスター製品を受け入れ、確実に患者さんへお届けするために、江東区新砂に東京工場、そして大田区東海に東京第二工場を構えています。宮崎工場から届けられた製品、またほか全ての製品は東京工場、東京第二工場のいずれかで厳しい品質検査を経て、バクスター製品として日本の医療の現場へ届けられています。



## ▶ Medical Representatives(MR)& Clinical Coordinators(CC), Commercial Professionals

医療の最前線へ必要とされるソリューションを届けるスペシャリストとして

バクスターのMR、CC、コマーシャル部門のメンバーは「患者さんの生命を守る」というミッションのために、各事業が提供するソリューションを届けるスペシャリストであり、当社のイノベーションを医療従事者の皆さまと患者さんへつながるバクスターの顔といえる存在です。医療従事者の皆さまのパートナーとして、直面する医療上の課題解決に従事し、患者さんが可能性に溢れた健康な生活を送るために、日々全力でコミットし続けています。



## ▶ Customer Support

在宅での透析医療を支えるスペシャリストとして

バクスターは在宅での透析医療を支えるパイオニアとして、在宅医療にかかわる課題に耳を傾け、患者さんができるだけ安心して治療を受けられるような、さまざまなサポートを行っています。社会のあり方や生活スタイルの変化に対応し、または自然災害などの不測の事態においても患者さんの生命を守るべく、最適な安全確認や配送などのソリューションを模索し続けていきます。

- ご自宅での腹膜透析治療をサポートするCAPDコールセンター(365日/24時間)
- 腹膜透析に関する教育を受けたドライバーで全国に物流網を整備
- 医療機器の安全で正確な使用を支える技術サポートセンター
- 患者さん同士の交流やご家族のために、情報誌・ネットで情報発信

## ▶ Professionals across Baxter

イノベーションを支える専門家として

現場で活躍する全ての社員が効果的に透明性の高いビジネスを展開すべく、各分野の専門家が様々な側面からバクスターを支えています。「患者さんの生命を守る」というミッションを第一に、各部門が結束し、全力でイノベーションを促すことによって、より患者さん一人ひとりに大きく寄与する医療の実現に貢献できると信じています。

# What's great about working at Baxter?

## 社員に聞いてみました!

**綱島英人** 2014年入社

ホスピタルプロダクト事業部 マーケティング

「セブザイリス」や「プリズマフレックス」の上市準備は、本当に大変でしたが大きな達成感を得ることができました。国内外いろんな方からの多大なサポートで期限を守ることでも、この協力し合う風土はバクスターらしさのひとつだと思います。

**宮下湖之美** 2002年入社

オペレーション本部 サプライチェーンオペレーション

東日本大震災当時、カスタマーサービス部にいましたが、患者さんの安否確認のために毎日電話を掛け続けました。サプライチェーンは製品を被災地に届けるための緊急通行車両の許可書を入手しようと毎朝警察署に並びました。皆が「患者さんのため」を考えて動く、それがバクスターです。

**増田輝雄** 1989年入社

宮崎工場製造部 オペレーションプランニング

私が入社したのは宮崎工場操業直前。岐阜工場での研修を経て、配属された宮崎工場では手順書も整備されてなく、上司の指示以外は、自分で考えて行動しなければならぬ状況でした。失敗も山ほどしましたが、この時の経験は私の宝物です。

**山脇典子** 1997年入社

透析製品事業部 クリニカルコーディネーター

患者さんとその家族に寄り添って、一緒に泣いたり笑ったり悩んだりでき、問題があればできることはないか社員間で共有し、相談できる。壁のない、そんなバクスターが大好きです。

**黄 大昌** 1990年入社

ホスピタルプロダクト事業部 MR

透析製品事業部時代に京都の病院を担当していた際、患者会の日帰り旅行や年末の餅つきにご一緒して、患者さんや家族の方々とともに素晴らしいときを過ごせたのは良い思い出です。

**瀬尾亘昭** 2002年入社

アドバンスサージェリー事業部 営業統括

バクスターはチャレンジをさせてくれる会社です。現在のホスピタルプロダクト事業部関西チームのMRとして入社し、東京勤務、キーアカウントマネジメントそして現在は「フロシール」営業組織の構築という、なかなか経験できない仕事に挑戦する機会をいただいています。

**下萩原かおり** 1989年入社

宮崎工場 品質管理部

宮崎工場は自然豊かで大好きです。大掛かりなRework(製品の再検査・再梱包)となった時に、製造部だけではなく、工場長を含め、工場全体で一丸となって、作業を行ったことは印象深いですね。今では製造工程がほぼ自動化になり、技術の進歩を感じます。

**齊藤和裕** 2018年入社

医薬品安全管理部

社歴は浅いのですが、協働して目標に取り組むという姿勢を感じられる社風がとても好きです。私たちの部門に求められる高度な要件をより高いレベルで達成できるよう、業務プロセスの改善に皆で取り組みました。

**成合寿紀** 1984年入社

メディカルアフェアズ本部 学術情報

真面目だけドユニークで、いろんな方がいるのがバクスターだと思います。自分自身も意見を否定されたことはなく、「ダイバーシティ」の考え方が浸透しているのでしょうか。全社が一丸となって真摯に仕事に取り組めるのも魅力です。

**角田松子** 2009年入社

薬事本部 薬事申請グループ

「かぐや」は日本で綿密な市場調査を行い、信念をもって日本側がグローバルに開発を依頼し、特別に設計してもらった製品です。私は薬事承認申請の業務で関わりましたが、皆が信じた通り患者さんに喜ばれる製品になり、本当にうれしく思います。

**前田秀幸** 1994年入社

東京工場 品質管理部

何か問題が発生した時や新たな事象に対応する場合など、部門横断的に協働ができて働きやすく、好感がもてる会社です。東京工場でも製造、オペレーション、プランニング、品質管理の各グループ担当者の連携ぶりは素晴らしいと思います。

**山村由美** 2006年入社

人事総務本部 人事部

バクスターの職場環境のフレキシビリティは常に進化し続けています。社員それぞれが専門性を発揮し、次の50年も患者さんの生命を守るために役立つ製品を市場に提供し続けていきたいと思います!

**谷 銀霞** 2015年入社

経理本部 アカウンティング

在宅勤務やフレックスタイム制度により、育児と仕事を両立することができ、ライフスタイルに合わせた働き方ができるのが魅力的です。また、「かぐや」が発売されて以降、会社にさらに活気が出た気がします。

**田崎 斎** 1984年入社

透析製品事業部 ビジネスプランニング

印象深いのは、阪神淡路大震災や東日本大震災などの自然災害時に、全社員が患者さんに薬剤・器材を届けるべく一致団結して寝食も忘れ、取り組んだことです。「患者さんの生命を守る」という使命感を持ち、全員で取り組んできたことを誇りに思います。

**岡山隆雄** 1981年入社

透析製品事業部 MR

1990年代、プロダクトマネージャーだった私は、様々な製品を世に送り出してきました。当時は振り返り、「バクスターは世の中が変わる瞬間に立ち会える、自分で羅針盤を作れる、なんて面白い会社だろう」と感じていたことを改めて思い出しました。

**末吉浩司** 1988年入社

宮崎工場 工場長

山を削った荒れ地に宮崎工場の建設が始まったのは1988年でした。風が吹けば砂ぼこりが舞い、雨が降ればぬかるみの状況でした。あれから30年の月日が流れ、緑に覆われた美しい工場へと変貌しています。

# そして、バクスタージャパンは 次の50年へ



1969年、グローバル企業バクスターの人工腎臓や臨床検査薬、輸血システムを日本市場に導入すべく、大阪に日本トラベノール株式会社(当時名称)を設立して以来、当社は「患者さんの生命(いのち)を守る」というミッションのもと、多くの画期的な治療法や製品を日本の医療現場にお届けしてきました。

その根底に流れるのは「患者さんの生命を守る」というミッションを達成し続ける一人ひとりの使命感、そしてすべての人が病のない、可能性に溢れた健康な生活を送る機会が与えられるべきだという確固たる信念です。

**Baxter**



いのちを守りたい。  
その情熱で未来へ。

## 50周年記念アイコンに込めた想い

「患者さんの生命(いのち)を守る」というミッション実現のための一人ひとりの情熱が、ここまでバクスターを牽引してきました。これからもその情熱はますます強いものとなって、未来の医療とそれを支えるバクスターを切り拓いていきます。

記念アイコンのデザインでは、当社を象徴する「Baxterブルー」で50年間の歴史を、黄色いハートで患者さんの生命と暮らしを守り、これからも守り続けるという私たちの強い意志を表現しています。



いのちを守りたい。  
その情熱で未来へ。

## CEOからのメッセージ

バクスターがこの50年間、日本各地で患者さんと医療従事者の皆さまに価値を提供し続けてきたことを喜ばしく、そして心より誇りに思います。

日本法人を設立した1960年代後半、バクスターはすでにヘルスケア業界のリーディングカンパニーとして世界中で認識されていました。日本にその軌跡を拡大したことで、前代未聞の経済成長を遂げている最中であつたこの国に、グローバル規模で信頼されているイノベーションをお届けすることが出来るようになったのです。

それ以降、何十年にもわたってバクスターは、画期的な製品やサービスをこの国に導入して参りました。80年代初頭には、末期腎不全のための在宅腹膜透析治療を導入し、昨年には、日本市場に特化して開発した自動腹膜灌流装置「かぐや」を上市しています。同時に、周術期や急性期医療におよぶ広範囲な製品ポートフォリオを構築し、また職場として「選ばれる企業」であり続けることにも注力し続けています。より健康的なコミュニティの構築に寄与し、自然災害の被害を受けた方々への支援を提供するなど、地域社会に対しても還元できるように努力を重ねています。

私たちは「患者さんの生命を守る」というミッションに基づいて、よりスマートでパーソナライズされた医療を推進すべく日本そして世界中で、全力で取り組んでいます。これからもずっと、人々がより健康で、病に苦しむことのない、可能性に満ちた世界を実現するために邁進し続けることを楽しみにしています。

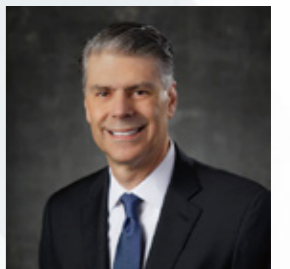
Baxter is proud to celebrate 50 years of making a difference for patients and their healthcare providers across Japan.

When we arrived here in the late 1960s, Baxter was already widely recognized as a healthcare industry leader. Our newly established presence represented an opportunity to bring our globally trusted innovation into a market that was experiencing unprecedented economic expansion.

The decades since have been marked by milestones of increasing access to Baxter breakthroughs - from pioneering home peritoneal dialysis therapy for end-stage renal disease patients in the early 1980s, to the recent introduction of Kaguya, our leading-edge, in-home automated peritoneal dialysis cycler technology developed exclusively for the Japanese market.

We have continued to build the breadth of our portfolio in areas such as Perioperative care and Acute care as well as our profile as an employer of choice. And we have given back through our efforts to promote healthier communities and provide assistance at times of tragedy and natural disaster.

Today in Japan and around the world, we are focused on advancing smarter, more personalized care in support of our Mission to Save and Sustain Lives. We look forward to embracing our opportunities in the years ahead, as we do our part to foster healthy lives, free from illness and full of possibility.



バクスター  
会長兼最高経営責任者 (CEO)

*Joe Almeida*  
ジョー・アルメイダ

## バクスター株式会社 社長からのメッセージ

私たちバクスター株式会社は2019年、日本法人設立50周年を迎えました。日本でオペレーションを開始して以来、私たちはイノベーションに基づいた治療法や製品をお届けする先駆者として、「患者さんの生命を守る」という弊社のミッションのもと、日本の医療に尽くしてまいりました。これはひとえに、患者さん、医療従事者の皆さま、お客さまをはじめとする多くのステークホルダーの皆さまに支えていただいたおかげです。この場をお借りして皆さまに心より御礼を申し上げます。

この半世紀、私たちはさまざまな治療領域において日本初のソリューションや、日本の医療現場のニーズに応える、市場に特化した研究開発を行った製品を導入してまいりました。おかげでこれまで私たちは、腎臓病領域、麻酔科領域、止血材領域や急性血液浄化領域において、高い倫理観を備えたマーケットリーダーとしての地位を確立することができたことと自負しております。

私たちはまた、日本の社会や地域に対するコミットメントを強化してまいりました。弊社の宮崎工場はまもなく竣工30周年を迎えます。そして多様性を擁し、社員のキャリア開発の機会を創出し、「最も働きがいのある職場」の実現に向かって努力を続けてまいりました。ここ10年間、日本がさまざまな予測不可能な自然災害に見舞われるなかで私たちは、この日本で人々の生命を守るために、必要不可欠な医薬品・機器を確実にお

届けできるように組織体制を整え、在宅で透析の治療を行っている患者さんに継続して治療が行えるように、医療関係者の皆さまとの連携を強めてまいりました。

超高齢化を迎える日本では、より効率的で費用対効果の高い医療の実現が必要とされています。より多くの方々がこのような医療にアクセスできるよう、私たちは引き続き取り組むべき機会を与えられています。そして、100年間日本で続く企業としてヘルスケア業界に貢献すべく、さらに邁進してまいる所存です。皆さまには、今後とも変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



バクスター株式会社  
代表取締役社長

ダニー・リスパーグ